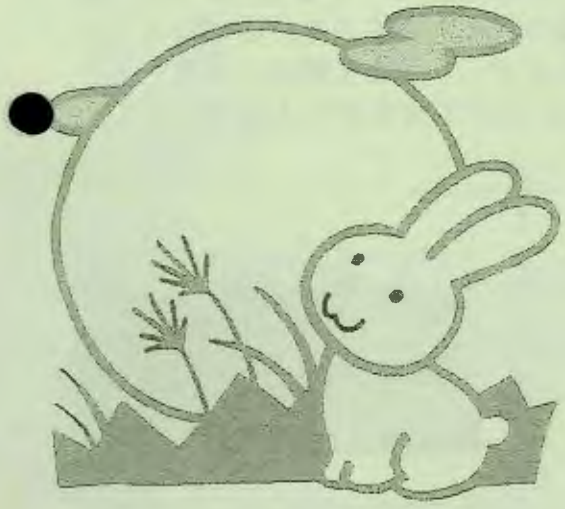
ふじやまだより

第32号
発行　2005年
8月15日
本郷
ふじやま公園
運営委員会

お月見の会、ことしは落語や俳句会も

恒例の“お月見の会”が９月２３日（金）秋分の日に古民家と中庭で催されます。

当日は古民家の縁側で月見団子、野菜、果物やすすき生花をお供えします。座敷では、邦楽・洋楽や日舞の実演のほかになんと落語も予定されています（１７：００～２０：００）。



“月より団子”の方には、**串団子**１００名（@１００円）、**蕎麦**５０名（@３００円）、**ふじやま流抹茶**５０名（@５００円）の券を当日１５：００から販売します。

引き換えは、蕎麦とふじやま流抹茶が１６:００から、串団子が１８：００から

お月見俳句会参加者を募集！

当日の１５：００～１７：００

公園中庭特設舞台で、先着２０名の方に句会を楽しんでいただきます。

投句締切り：９月２３日（金）１５：００

兼題　　：月、古民家、ふじやま

俳句会への参加費は無料。参加していただける方は往復はがきに氏名、住所、電話番号を書いて、公園事務所までお申し込みください。

参加申し込みの締切りは９月１５日（木）です。

「自然の絵の具で絵を描こう！」

――――いたち川を歩いて土を採取、ふじやま公園で制作――――

（財）神奈川県国際交流協会主催イベントに協力

「土などを採取し絵を描くことによって、季節感を楽しみ、同じ地域に住む人たちとのふれあいを持ち、身近なところから環境を考える」という催しが開かれました。

１回目の７月２４日は約３０名の人たちが地球プラザから歩き始めて、途中いたち川の川べりなどでいろいろな色の土を採取しながらふじやま公園にゴールイン。ここでビニールシートを広げて、採取した土をニカワで溶いて大きな画用紙やハガキ大の紙に思い思いの絵を描きました。

このあとは涼しい古民家の中で２回目以降のことなどを話し合いました。

２回目は８月２０日（土）、３回目は１１月６日（日）で、１１月初旬には展覧会の予定も。お申し込みは神奈川県国際交流協会（045-896-2899）横山さんへ。

身近なところに歴史発見！

第八回栄区歴史双六探訪（豊田地区）

古民家歴史部会　小澤静子

大船駅西口－（鷹匠橋経由）－長谷寺－長尾砦―御霊神社－A 九つ井戸、B 田谷洞窟－田谷御霊社―千秀青少年センター玉泉寺－御嶽山―金井八幡―八坂神社

当日（６月１１日）は天気に恵まれ３３名の元気な歴史好きの人達が集合しました。説明は地元の地域史研究会の霜田さん（写真下左）橋本さん（中）浅野さん（右）です。

１０時出発で長尾氏発祥の地、長谷寺を訪問。徳本塔などがありましたが今は無住の寺になっていました。近くの竹林を通り登っていくと長尾砦（写真下右）の跡に出ました。とても見晴らしがいいところです。ここは玉縄城の出城として築かれ、戦国時代にのろしをあげて情報を伝えたということです。すぐ近くにある長尾台の御霊神社の祭神は草良親王と鎌倉権五郎景政の二柱で上杉謙信の祖先発祥の地とされています。

次のコースは二手に分かれて見学しました。

（A は九つ井戸、B は田谷の洞窟）九つ井戸は今でも一つ使われていて、この飲料水は玉縄城主の室の平戸御前のために運ばれていたということです。

田谷の交差点を過ぎて洞窟わきで合流し、田谷御霊社（写真下左）を見学。祭神は鎌倉権五郎景政といわれていて赤い鳥居が印象的でした。千秀青少年センターで昼食後、バスで玉泉寺に向かいました。当日の気温は３０度近くもあり、みんなバスの冷房にほっと一息。

玉泉寺は１３３５年創建で、江戸時代の名僧誠拙和尚は晩年京都天竜寺に招聘されたとき、爪と歯を残していかれたものが爪牙塔として残っていました。

玉泉寺の裏山には御嶽山三社大神と山岳信仰塔がありました。村人とお寺が深い関係にあり、２５ヶ村９４名が造立者として記されていました。近くの石段を登ったところに金井八幡があり、社殿の透かし彫りが見事でした。金井公園の近くの八坂神社は十二天社として祀られていたところです。ここで３時に解散しました。ご案内くださった方々ありがとうございました。

つれづれのうた

若竹や鞭の如くに五六本　川端茅舎

人も蟻も雀も犬も原爆忌　藤松遊子

見られてゐて種出しにくき西瓜かな　稲畑汀子

猛暑に負けず竹工作

水鉄砲、はと笛などを完成

８月５日(金)、本郷ふじやま公園で栄区役所主催の「さかえふるさと発見隊　夏休みチャレンジ」“竹で作ろう”のコースが実施された。

５０組近くの親子が参加し、総勢１００名を超えた。１０時開会、１４時３０分閉会まで充実した１日で、参加者は全員、大満足。午前の竹林での竹の切り出しは、子どもたちに良い経験になり、午後の竹工作では、それぞれ水鉄砲・野菜鉄砲・竹ポックリ・はと笛・よちよち木登りが作れ、ほとんどの子が２～３作品を完成した。

協力したふじやま公園のボランティアは全員汗だくだった。

♪♪♪♪♪♪♪♪　　♪♪♪♪♪♪♪♪

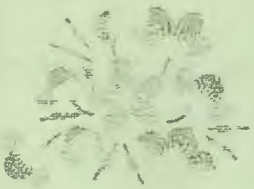
古民家Q＆A　第2回
大黒柱

大黒柱は家の象徴であり中心となる特別な太い柱です。梁と梁とが交差する力のかかる部分に建てられ構造上一番重要な柱です。この柱は四方向から梁を受けるので、ほかの柱に比べ太くしなければなりません。

これには特別な名称が与えられ、全国的に大黒柱の名が広く用いられています。一般的には大黒柱は土間と板の間との境や、板の間と座敷との境にあります。

旧小岩井家の場合は土間のほぼ中央左手に土間と板敷きの茶の間と広間の間の一番目立つ場所で黒光りした威容を誇っています。大黒柱の語源はかつて恵比寿大黒様を祭ったことによる説などがありますが正確なところはわかっていません。材料には力に強いケヤキ、クリ、ナラ、カシ、サクラなどが用いられます。

この古民家の大黒柱はケヤキで太さは縦３８cm、横３６cm、高さ５．４mです。そして大黒柱の上に一回り細い柱が見えます。この柱は弘化４年（1847）最後に建替えた時に、以前の大黒柱を転用したものだということです。



ふじやま公園への移設解体時、大黒柱礎石の下から玉石に経文を記した一字一石経が発掘されました。小岩井家のご主人が諸佛菩薩天神地祇の回向、家内安全子孫繁栄、火盗潜消などを願って、お経の文字を書いたとのことです。（田代眞治）

次々と外国からのお客さま

ある日、お友達に案内されて二人の若いフランス人が来園。ボランティアの説明をとても興味深そうに聞き入っていました。

二人とも日本の大学で勉強中。写真は左から、エティエンヌ　ボアニエさん、ひとりおいてセバスチャン　アブリーさんとお友達の花田さん。

別の日には、道がわからなくて公園の周りをぐるりと歩いた上、弓道場からの急な階段を駆け足で登ってきた元気な外国人の女性やアメリカ東部から日本に移り住んでいるという恰幅の良い男性も。

私たちと同じアジア系の方はなかなか見分けがつかないけれど、とても多くのアジア系の外国人の方が来られているのかもしれません。ふじやま公園も世界のお客さまを迎えるようになってきた？

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください　お待ちしております

教室名	日時	内容	参加費	応募期限
作って遊ぼう～子ども工作の日～	9月18日（日） 10時～12時 13時～15時	布で作る小さな絵 小学生以上	無料	申し込み不要 受付： 10時～11時 13時～14時
里山のそば打ち塾	10月22日（土） 10時～13時	初心者でも美味しいそばが打てます。そば打ち、茹で、試食までします。	700円	9月30日（金）
第14回初心者茶道体験教室	10月15日（土） 13時～16時	講師：表千家 角田宗美先生 初心者大歓迎！ 男性もどうぞ！ 平服でお気軽に。	500円 （教材費）	9月20日（火）
造形遊び	9月29日（木） 13時～15時	竹・炭・木皮を使い置物を作る。	1,000円	9月10日（土）
布細工	9月28日（水） 10月12日（水） 10月26日（水） 13時～16時半	9月：日本古来の「セミ」の袋物 10月：柿づくし	1,800円 （3回分）	9月15日（木）
伝統工芸「鎌倉彫」を彫る	9月20日（火） 10月4日（火） 10月18日（火） 13時～16時	（全3回） 径21cmの平皿に「ざくろ文」を彫ります。	2,500円	9月10日（土）
草木染め	10月11日（火） 11月8日（火） 12月13日（火） 13時～16時	シルクのストール他	2,000円位 1作品	9月30日（金）
七宝	10月13日（木） 13時～16時	銅版を切って作るブローチ	500円	9月30日（金）
刺し子	10月20日（木） 10月27日（木） 13時～16時	（全2回） 三角袋 花ふきん	1,800円	9月28日（水）

(1)持参品：返信ハガキで連絡します。　(2)定員：各12名。応募者多数のときは抽選

(3)応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて応募期限までに**本郷ふじやま公園**へ

◆本郷ふじやま公園運営委員会　〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1－20 TEL:896-0590　FAX:896-0593

・開館時間：　９：００～１７：００　・入館料：無料
・休館日：９月７日（水）
・クリーンアップ作業：９月６日（火）、２０日（火）１０時～１１時

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。